

## 都会の親子ら 田植えに挑戦

### 地域住民と交流

【大田原】八溝山地に囲まれた南方地区で21日、稲作体験が開かれ、都内などから参加した親子らが田植えに挑戦した。

稲作体験は那須のNPO法人アート・ピオトープと地元の川上地域活性化推進会が主催

した。里山の保護保全を目的に、同法人が昨年立ち上げた「里山チクルス」の一環。高齢化が進み、休耕田が増加している南方地区で、稲作に協力するだけでなく、農村と都会に住む人の交流も図ろうと企画された。

この日は、東京や神奈川などから親子8人が参加。短パンやはだしになった参加者は、



好天の下、田植えを行う親子ら

農家の人から植えるコツなどを教わりながら、苗を丁寧に植えていった。田植え終了後、地域住民が打ったそばなどを堪能した。

秋には稲刈りが行われる。